

やよい図書館

皆様、こんにちは。

やよい図書館館長の吉田です。

今年の夏はさまざまところで節電対策が行われ、光量の減った街の様子に「一昔前に戻ったよう」と感じる方もおられたようです。

本は、パソコンや携帯電話もなかった時代、テレビや映画と肩を並べる娯楽物として親しまれてきました。そして現在においても、先達の知恵を伝える良質の媒体と言えるのではないでしょうか。

外の暑さを多少ともしのげる図書館で読書に耽るのもまた乙なものかと思えます。

皆様のご来館をお待ちしております。

足立区立青井中学校職場体験

7月1日に足立区立青井中学校2年生の生徒さん4名が職場体験のため来館しました。慣れない場所での緊張もあるのか、みんな表情は硬めでしたがひとつずつ仕事を覚えていくにつれ、自信に満ちた表情に変わっていったのがとても印象的でした。そんな青井中学校の生徒さんに仕事をしてきた感想を書いてもらいましたので、一部抜粋してご紹介します。(写真は本にカバーをかける作業をしている最中のものです。)

【職場体験学習を終えて】

- ◆働いてみてわかったのですが仕事をするのはとても大変だと思いました。カウンターでは本を借りる人と返す人がいっぺんにきてあせりました。
- ◆今日一日やよい図書館で働いてみて感じたのは、本は大切に扱わなければいけないということでした。私は本を読む事が好きなのでこれからもたくさん読みたいなど改めて思いました。
- ◆僕が一番難しいと思った作業は本にブッカーというカバーをかける作業です。ブッカーかけは本がぬれたり傷ついたりするのをふせぐためにやります。ブッカーかけの中でも一番難しかったのはカバーを切るところでした。
- ◆カウンター業務では貸出や返却をやってみて最初は言葉がはずかしくて言えなかったけど、うまくやれたと思います。将来は人見知りや直していろいろな人と話したりいろいろな人を元気にさせたいです。



みなさん大変お疲れ様でした。短い日程の中で沢山の作業をしていただいたので、とても忙しかったかと思いますが、この職場体験で感じたことを今後の学校生活に活かしてもらえたらとてもうれしいです。この機会に、これからも図書館を利用して下さいね。